

一、處女出版といふ程のもちもありませんが明治三十一年夏、早稲田の学生時代に、隆文館と名づけたから、コテニスンの詩とふし冊子の譯詩集もあつたが最印の本と一は本です。

二、この小冊子を~~想~~想いしす毎に、五月にこのころに母をたもひ、いろいろ累苦しいお時の記憶がよみがへつて来るばかりです。

お星 微笑の輝火を愛しくありあはれ
 感もかけ失礼をせしめられた、實ハ先
 日采りし他中からの用向がありやうと上へ
 引つゞきやうに書きたるをたすか下
 病をせしめて閉口しておる位です、心を
 抱き抱きお送りしつゝ、實ハ先
 日采りし他中からの用向がありやうと上へ
 引つゞきやうに書きたるをたすか下

よく来たし、お星、お星、お星のあつた
 一、お星、お星、お星のあつた
 二、お星、お星、お星のあつた
 三、お星、お星、お星のあつた
 四、お星、お星、お星のあつた
 五、お星、お星、お星のあつた
 六、お星、お星、お星のあつた
 七、お星、お星、お星のあつた
 八、お星、お星、お星のあつた
 九、お星、お星、お星のあつた
 十、お星、お星、お星のあつた

お星、お星、お星のあつた
 九日廿日
 お星、お星、お星のあつた
 九日廿日
 お星、お星、お星のあつた
 九日廿日
 お星、お星、お星のあつた
 九日廿日
 お星、お星、お星のあつた
 九日廿日
 お星、お星、お星のあつた
 九日廿日

きかは使郵



CARTE POSTALE
 Union Postale Universelle

東京市千代田区
 若松町八十二
 島田賢平様

草が一面
 咲いてるよ